

# 球磨版

## 球磨総局

あさぎり町免田東3156-2  
電話 (0966)45-1110  
FAX (0966)45-0399

### ◆販売取次所◆

- 古屋敷地区 米本商店 ☎46-1010
- 湯前地区 栗須販売店 ☎43-3223
- 岡原地区 松尾販売店 ☎080-3960-4047
- 上地区 蔵座販売店 ☎47-0203
- 須恵地区 平川販売担当 ☎090-5489-4751
- 相良村地区 徳益食堂 ☎24-4011
- 山江地区 稲留酒店 ☎23-4974

お酒は20歳を過ぎてから

あさぎり町上北169番地1  
(0966)45-1118



風味芳醇  
晚酌には

# 地域医療の課題再認識

## 熊本大学病院 夏季特別実習 医学生が郡内で学ぶ

熊本大学病院地域医療・総合診療実践学習附講座「夏季地域医療特別実習」が13、14の両日、上球磨地域と五木村を舞台に開かれ、参加した医学生はフィールドワークなどを通して地域の医療や保健、福祉の現状や課題

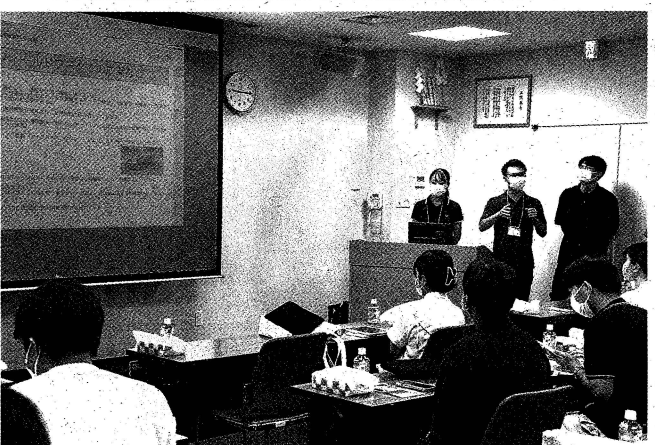
について学んだ。将来、地域医療に携わる医学生の意欲を醸成し今後のキャリア形成に資することを狙い、熊本大学病院地域医療センターが県地域医療支援機構と連携して毎夏、県内各所で実施しているもの。

今回は、熊本県医師修学資金貸与学生を中心とした熊本大学医学部の学生と自治医科大学(栃木県)に通う熊本県出身学生ら27人が参加した。初日の13日、医学生たちは公立多良木病院で人吉保健所の職員か

ら人吉・球磨地域の医療提供体制などについて話を聞いた後、4グループに分かれて多良木町、あさぎり町、湯前町、水上村の上球磨地域と五木村の医療機関や福祉施設、まちづくり関連施設などに出向きフィールドワーク

を実施。各施設で実際に職員や住民らから聞き取りを行い課題などを探った。最終日の14日は、公立多良木病院講堂で全体発表会を開催。熊本大学の関係者や町村の職員らが見守る中、各グループの医学生たち

が事前学習で学んだことや地域特有の課題、実習で経験したことに對する考察などを発表。各グループのメンバーは、地域の課題として、人口減少・少子高齢化に伴う雇用の人手不足、産婦人科医不足



感じた地域課題などを発表する医学生たち

などを挙げ、「学習を通じて地域の課題点や現状を現場の目線で知ることができた」「地域に赴き、地域を知り、地域を愛することの大切さを強く実感した」「地域医療に貢献できる医師になりたい」と感じを述べた。午後6時、令和2年7月豪雨で被災し再建を果たした人吉市の大和一酒造元とホテルサン人吉などを視察。熊本大学医学部5年生の山口真子さん(23)は「初めて五木村を訪れましたが、人々の生活を知ることができ、多くのことを学ぶことができましたので参加して良かったです。今回、聞いたことを今後に生かしていきたい」と話していた。